



vol.23

公益財団法人
目黒寄生虫館館長
くらもちとしあき
倉持利明 さん



忘れたころに
やってくる寄生虫を
安全に怖がってほしい

プロフィール

国立科学博物館動物研究部で魚類の寄生虫研究を行う。当時、同業者として交流していた目黒寄生虫館の小川和夫前館長の誘いを受けて2021年、第6代館長に就任。研究・展示を通じ、寄生虫の啓発とともに館のさらなる発展に取り組む。

創設70年を迎え、第6代館長に

目黒寄生虫館は、日本で唯一の寄生虫を専門にした私立博物館です。1953年、医学博士で初代館長の亀谷了氏が私財を投じて建てた小さな博物館が始まりです。

「70年という長い歴史があって今があります」と倉持館長。「当館をより発展させていくことが私の使命です。新しい目標に向かっていけるよう、研究も運営も強固なものにしていかなければなりません」

寄生虫のことを理解し安全に怖がってもらうために

同館では、寄生虫の分類学を中心に日々研究を行い、啓発活動を行っています。

「日本は寄生虫制圧の先進国ですが、そんな日本でも突然発生する可能性はあります。寄生虫は忘れたころにやってくる現象が結構あり、私どもは目を見張り、警鐘を鳴らさなければなりません。寄生虫を多くのかたに理



目黒寄生虫館

場下目黒4-1-1
開館時間 10:00~17:00
休館日 月・火曜日、年末年始
(月・火曜日が祝日の場合は開館し、直近の平日に休館)
¥無料(※)
※寄付金やミュージアムグッズの収益などで賄われています。ご協力をお願いします



▲グッズの定規

目黒寄生虫館の詳細はこちら▶



解してもらい、安全に怖がっていただく。恐怖に震えるのではなく、こうすれば大丈夫、という方法を皆さんに知っていただくことが大切だと思っています」

館内には、ロゴマーク(左図)にもなっているフタゴムシや、8mを超えるサナダムシをはじめとする常設展示、不定期で開催される特別展示など、常時300点ほどの標本と関連資料が展示されています。見所を尋ねると、「標本を美しく見せることを第一に心掛けています。きっと気持ち悪いよね、と言いながら来館されたかたが、こんなきれいだったのって驚くような展示を作りたいですね」と展示品を見て笑います。



寄生虫館を守り、発展させていきたい

「分野横断的に垣根を取り払った研究をして、寄生虫を入り口としてSDGsに迫っていきたいです。そのためには今の研究環境、博物館そのものを守らなければいけない。より広い範囲をカバーできる博物館にしたいと思っています」と将来への思いを語ってくれた倉持館長。

「区民のかたには、何度も足を運んでもらって、このケースの右から3番目に〇〇があるよね、くらい覚えていただきたいです。もしも忘れていた寄生虫が突然発生したとき、あそこにあった寄生虫だと思い出してもらえ、そんな施設を目指したいと思います」

ひとめぐり movie

ひとめぐり「倉持利明さん」のインタビューを、区公式YouTubeチャンネル「めぐろTV」(コード①)でもご覧になれます。



7月3日から実施!



総合庁舎で電気自動車(EV車)カーシェアリング事業を実施します

区は2050年にCO₂(二酸化炭素)排出量を実質ゼロとする、ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みを進めています。

取り組みの一つとして、総合庁舎本館東口駐車場で、EV車のカーシェアリング事業(2台)を実施します。区役所の敷地内にEV車専用のカーシェアリングを複数台導入するのは23区初となります。

利用には会員登録が必要です。詳細は区HP(コード②)をご覧ください。



運営事業者 タイムズモビリティ株式会社
利用料金 15分330円から(税込み)

試乗会などのイベントを実施します

詳細は区HP(コード②)をご覧ください。参加希望者は当日会場へ。

時7月3日(月)10:30~15:30

場総合庁舎本館東口駐車場

内試乗会、電気自動車からの給電体験



カーシェアリングとは、登録会員間で、車を貸し借りするサービスです。

区カーシェアリングの利用方法・利用料金などは
タイムズカーコールセンター(☎0120-20-5037)、
事業全般については
総務課庁舎管理係(☎5722-6107、☎5722-9315)



教えて! ゴミラス

Q 7月から始まる製品プラスチックの資源回収で、特に注意したほうがいいことは何ですか?

A 次のものは外側はプラスチックだけど、リチウムイオン電池など発火事故の原因になるものが入っているから、絶対に資源回収には出さないでね!

- モバイルバッテリー
- 電子・加熱式たばこ
- 携帯型扇風機 ●電動歯ブラシ
- その他の小型充電式電池を含む製品



詳しい処分方法は、今回の区報と併せて配布している、資源とごみの分け方・出し方のパンフレット、または、区HP(コード③)を見てね。



区清掃リサイクル課計画普及係(☎5722-9883、☎5722-9573)

7月から始まる製品プラスチックの資源回収に関する疑問や質問をお寄せください



専用HP(コード④)、ハガキ(聞きたいこと、住所・氏名(ニックネーム可)・年代を記入)で、広報課(〒153-8573目黒区役所〈住所不要〉)へ。いただいた質問などから、ゴミラスが選んで回答します。

